

令和4年5月27日

子どものマスク着用について

瀬戸市教育委員会

気温が高くなり熱中症が心配される季節となりました。子どものマスク着用については、これまでも気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い時には、屋外で人と十分な距離を確保できる場合であればマスクを外すように指導しております。今週になって文部科学省より夏季を迎えるに当たり、学校生活における児童生徒等のマスクの着用について改めて留意する点が通知されましたので、お知らせいたします。なお今回の内容は、これまでの取扱いを変更するものではありません。

- 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。
- 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高く、熱中症のおそれがある日には、マスクを外してかまいません。
- 体育の授業においては、基本的にマスクの着用は必要ありません。

学校ではこれに基づいて指導をしてまいりますが、小学校低学年児童は、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しいこともあろうかと思います。

保護者の皆様からも、

「暑くなったらマスクをはずしていいからね。でもお友だちとは離れて、おしゃべりはしないようにするんだよ」と声をかけていただければと思います。

裏面に厚生労働省・文部科学書による資料も掲載しますので、参考にさせていただくとともに、今後も引き続き感染対策に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。



子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めています。



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
 - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞離れて行う運動や移動、
鬼ごっこなど密にならない外遊び
＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習



学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際
※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう
※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



気をつける
ポイント

- ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
 - ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。

